

119 オオモズ

(スズメ目)

兵庫県ランク:要注目

Lanius excubitor

繁殖個体群:無 越冬個体群:無 通過個体群:注

環境省ランク:指定なし

種の概要

北海道では冬鳥。本州と九州では旅鳥だが、数は少ない。兵庫県では主に9-翌3月に極めて稀に記録がある。平地から山地の疎林や農耕地、草原に生息し、主にネズミ類や昆虫類、小型鳥類を捕食する。

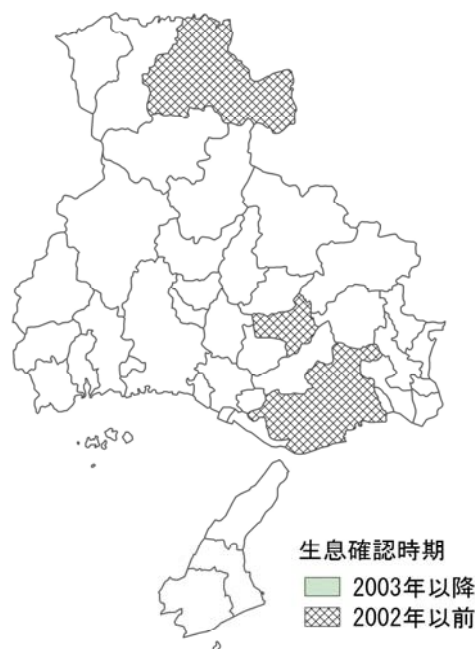


写真提供:松重和太

国内分布

北海道、南千島、本州、粟島、佐渡、舩倉島、隠岐、見島、九州

県内分布 ()表記の市町では2002年以前に生息確認(神戸市)、(豊岡市)、(加東市)



主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性(特殊性)			学術上の希少性	
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ねぐら休息環境・	局地的繁殖	希少

県内における生息状況およびその他特記事項

新規追加種。
1966年に神戸市、1971-1972年、1976-1977年、1980年、1988-1989年それぞれに豊岡市で記録されている。1989年9月に加東市で観察されたのが最後で、その後の記録はない。もともと極めて少ない個体数である。

保護上の留意点

既知の渡来地で、当時の自然環境が残されているのは豊岡市のみであり、その保全が特に重要。